

令和元年度 浜松情報専門学校

学校自己評価・学校関係者評価 評価報告書

1. 教育理念・教育目標

〈教育理念〉

社会で自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

〈教育目標〉

本校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、産業の発展に対応する情報処理及び関連する技術と、商業分野における実務教育及び関連する部門の技術を教育するとともに教育に関する学科、一般教養に関する学科も授けて、知性高く教養の高い近代的中堅技術者を養成し、地域の振興に寄与することを目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①2020年度入学生の募集定員（210名）を確保
- ②高校・保護者・地域・企業に評価される教育実績を着実にあげる
- ③二校一体運営の更なる推進
- ④職業実践専門課程への取り組み
- ⑤新学校の将来構想に向けた取り組みの加速

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

（1）教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ①教育理念並びに教育目標を学生に周知するため、当該情報を記載した学生便覧を学生に配布し、入学時のオリエンテーションを通して入学生全員に説明している。
- ②職業教育の特色は、学校案内パンフレット、ホームページ等に掲載されている。
- ③学校の将来構想については、法人内専門学校6校の中期計画として計画、実行されている。
- ④学校及び学科の育成人材像は、学校説明会やオープンキャンパス等で説明している。学生に対しては入学時のオリエンテーション、保護者に対しては後援会総会にて説明している。
- ⑤西部改革委員会が浜松みらいプロジェクトと改変し、教育課程編成委員会と併せて業界のニーズの把握に努め授業展開している。

今後の改善方策

- ・引き続き、学校生活や学校の取り組みについては、ホームページ上での情報発信の機会を増やし、多くの方への周知を図る。
- ・浜松みらいプロジェクトや教育課程編成委員会にて、より多くの旬な業界ニーズの把握に努めていく。

学校関係者 評価コメント

- ・専門学校の特徴である職業に就くための技術を高める教育と人間性を磨く教育についてホームページ、学校案内等で触れられており好感が持てる。強いて言えば生徒の未来の姿に夢を持たせる演出が必要と思われる。
- ・時代のニーズに対応するために、教育理念に立ち返り積極的に広報している姿勢は高く評価できる。
- ・学生や保護者はホームページで情報収集をすることが多いので、インターネット（SNS）を活用した発信は有効である。
- ・ホームページやCM、オープンキャンパスの開催で学校での取り組みについては多くの人へ発信できている。
- ・現在浜松日本語学院の新校舎建設が進んでいる。課題も生まれてきているところだと思うが、安定的に発展していかれることを願っている。
- ・浜松情報専門学校において、国際ITビジネス科の存在意義や価値も日増しに高まってくる。運営上難しい問題もあるのではないか。その特殊性を鑑みて独立の評価項目があってもよいのでは。
- ・引き続き情報公開を希望。

学校関係者評価

4.0

(2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
2-11	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
2-12	目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	4
学校自己評価 平均		3.8

成果と課題

- ①全ての科目のシラバスを作成し、ホームページ上に公開した。また、各授業開始の際にはシラバスにそって授業計画や到達目標等を説明した。
- ②教育到達レベルや学習時間は、学生便覧やシラバスに記載されている。
- ③各教科カリキュラムは体系的に編成されている。
- ④全ての学科においてキャリア教育を開講しており、実践的な職業教育を行っている。
- ⑤留学生学科を除く全ての学科で職業実践専門課程の認可が下り、実践的な職業教育が体系的に位置づけられた。
- ⑥前期と後期の終わりに授業評価アンケートを実施している。
- ⑦成績評価、単位認定は教務規定に沿ってシラバスに記載されている。
- ⑧資格取得については、各科で体系立てられており、受験、合格に向けた指導体制のもと授業運営をしている。
- ⑨各授業科目において、実務家教員が担当する授業であるか、授業科目に見合った講師の把握に努めている。
- ⑩全ての教員が先端的な技能や指導力向上を図る研修に参加した。
- ⑪カリキュラム見直しは、職業実践専門課程申請予定学科を含む、職業実践専門課程学科では、教育課程編成委員会を開催（年2回）し、外部委員の協力のもとカリキュラムの作成・見直しを図っている。
- ⑫目標に到達しない学生に対するフォローは、個別面談や放課後補習等により対応している。

今後の改善方策

- ・ 授業評価にて収集された情報が、適切にフィードバックできる仕組みを定型化する。
- ・ 教育人材の確保については喫緊の課題である。各学科とも専門性の高い領域であるため、採用においてもマッチする人材がいらないのは業界側の採用と同じである。

学校関係者 評価コメント

- ・ 学生が何を目的に入学したかの意識を常に持たせ、自身の将来像を描けるようにする必要がある。そのための創意工夫が必要と思える。
- ・ 教員については専門性を活かせる企業のOB採用を検討されるとよい。
- ・ 生徒の立場から教育の充実に取り組んでいる。
- ・ 入学者数が増えていることから、教育人材の確保は重要である。
- ・ カリキュラムの作成、見直しを定期的に行うことで、実践的な学習を受けることができるとよい。

学校関係者評価

3.9

(3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	4
3-3	退学率の低減が図られているか	4
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
学校自己評価 平均		3.8

成果と課題

- ①就職内定率 98%、専門職内定率（履修した分野に係る企業等への内定割合）85%を達成した。
- ②資格取得では、資格試験の実施と検証のサイクルを実施しており、ほぼ例年の実績に近い資格取得実績をあげた。主な資格として、基本情報技術者試験とセキュリティマネジメント試験に、昨年を上回る 28 名と 22 名合格

<p>した。またゲームクリエイト科では、色彩検定協会賞を受賞した。</p> <p>③退学率は5.8%（昨年8.6%）と大幅に改善された。留学生の除く日本人学生の退学率は3.2%であった。</p> <p>④同窓会は継続的に運営されている。卒業生の社会的な活躍については同窓会より情報提供を受けることが多い。在校生についてはビジネスライセンス科のSOHO しずおかビジネスプランコンテストや、こども保育科の近隣幼稚園・保育園への夏祭り、浜松いなさ人形劇祭り、クリスマス会ボランティア参加等様々な面で社会活動へ参加した。</p>
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科重点資格として位置づけられているものについては、目標必達として引き続きPDCAを回していく。 ・卒業生の状況把握については十分とは言えず、就職担当より卒業生の活躍把握に努めていく。
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学校の特徴である「資格取得」では成果をあげている。その成果を発表できるなど次に活かして欲しい。 ・資格取得率の向上のための施策の充実を期待したい。また、真の実力をつけるための産学連携教育の拡大にも取り組んで欲しい。 ・卒業後に就職企業で長く勤務できているか、または転職後に学校で学んだことを活かされているかなど、アンケートを取ってみたいだろうか。 ・就職内定率の高さ、退学率の改善は評価できる。 ・それぞれの項目で、引き続き改善が図られることを期待する。

学校関係者評価

3.7

(4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	4
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
4-8	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ①常設の就職相談室を設置し、学生の就職相談には常時対応している。学内企業説明会を94社企画した。
- ②クラス担当によるホームルームや個別面談を実施している。毎週1回スクールカウンセラーによるカウンセリングをプライバシーに配慮して受けられる体制を整えている。
- ③新たに「教育費負担軽減制度」の認定を受けた。またこれまで通り、学生支援機構の奨学金制度や提携するクレジット会社の教育ローンを低金利で利用できる。
- ④毎朝ホームルームを実施している。また看護師経験をもつ職員を採用し、日頃から健康相談が受けられる。
- ⑤保護者との接触機会は定例として後援会総会、就職説明会がある。学生指導として出欠席指導、成績不良者に対する保護者連絡等は常に実施しており、学生の変化を状況に応じて情報を共有する体制をとっている。

- ⑥定期的に同窓会を開催しており、卒業生の動向把握に努めている。また、卒業生への再就職支援体制を継続的に運営している。
- ⑦高等学校と連携を図り、キャリア教育・職業教育を各種職業分野において実施している。
- ⑧課外活動として、学校全体規模でバス遠足を実施、また学科ごとに教育上必要な施設見学や展示会見学等を実施し、保護者による学校後援会組織からの支援を受けながら年間を通して実施している。

今後の改善方策

- ・必要な学生に対してカウンセリングが受けられているのか。引き続きカウンセリングの周知を図り、学校生活や就職活動、私生活に渡りメンタル面のケアに努めたい。

学校関係者 評価コメント

- ・学生同士のチームワークによって、一致団結できる催しが必要ではないか。クラスが共同体として仲間意識を植え付けることも必要。
- ・生徒のフォローは十分に行われていると考える。
- ・健康相談、カウンセリングは素晴らしい取り組みである。
- ・健康診断結果から、気になる学生は呼び出し等を行っているか。 ⇒ 個別に経過観察や受診指導を行っている
- ・就職に関する相談や悩みは多いと思うので、相談室が常設され面談ができるなどの支援は良い。

学校関係者評価

4.0

(5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか。	4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	3
5-5	防災に対する体制は整備されているか	4
学校自己評価 平均		3.8
<p><u>成果と課題</u></p> <p>①講義室、実習室は管理担当者（教員）を割り当てている。</p> <p>②実習室及び教室は原則自習室として開放している。一部パソコンなど高額資産が設置されている実習室については、担当教員の許可を得て利用ができる。</p> <p>③教育用機器備品は、授業利用計画に従い整備している。</p> <p>④3校併設の現状により施設・設備を配置する場所、自主学習をするための場所は慢性的に不足している。</p> <p>⑤防災マニュアルが整備されており、毎年全校生徒を対象に避難訓練を実施している。</p>		
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松日本語学院の移転に合わせ、効率的な施設・設備の整備計画を立案し、今後の活動に反映する。 ・引き続き、学生数に見合った機材整備に努めていく。 		
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教室へプロジェクトの常設をして欲しい。 ・生徒のカバンが散乱し整理整頓の習慣を身につけて欲しい。学生ロッカーとは別にスペースを用意して欲しい。 ・学校数が増えているが、浜松日本語学院の移転もありタイミングとしては丁度良い。 ・学習する環境がしっかりとしており、管理者もいて生徒も安心して利用できる。 ・学生数に見合った環境整備を期待。 		
学校関係者評価		3.6

(6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4
学校自己評価 平均		4
<p><u>成果と課題</u></p> <p>入学案内・募集要項については、虚偽のない正確な情報掲載を常に努めている。学校説明会は、4月から7月にかけて月1回実施した。オープンキャンパスは、3月から9月にかけて10回実施、ミニオープンキャンパスは10月以降4回実施した。入学選考は10月以降月1回実施し、3月は志願者ごとに随時実施した。</p>		

<u>今後の改善方策</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して紳士的な募集活動を行っていく。学納金については、教育の質の維持・向上、施設設備、消費税率など内外の要因を見極め、内部の効率的な運営に努めながら適切に判断していく。 	
<u>学校関係者 評価コメント</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の募集にあたり学科名を見て何を勉強するのか判るようすべきではないか。「セキュリティネットワーク科」⇒「ネットワークセキュリティ科」、「ビジネスライセンス科」⇒「ビジネス技術科」 ・他校以上に積極的に取り組んでいる。 ・少子高齢化の現代において、これだけの学生数を確保できているのは素晴らしい。 ・オープンキャンパスが定期的に多くの回数実施をしているので、広く学生に学校の事を知ってもらえている。 	
学校関係者評価	4.0

(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-19	自己評価結果を公開しているか	4
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4
学校自己評価 平均		4
<u>成果と課題</u>		
<p>①法人内人事評価制度に従い実施している。②教務・総務・広報・就職部門間が連携して業務上の様々な問題解決に取り組んでいる。③④非常時における危機管理対策については、法人全体での対応が周知されており、学校毎の消防等安全に対する対応は常に行っている。また、5月に防災訓練を実施している。特に新入生や留学生に対して、早期</p>		

に防災に対する意識を定着させ、いざという時に備えた学校生活を送ってもらう。⑤⑥⑨学校としての目的、事業計画に沿った運営方針は毎年策定され、学校組織の体制も常に見直しを行っている。⑦⑧就業規則を含む諸規程は整備されており、一部抜粋が規程集として全職員に配布され、また全ての規程集については電子化されており、教職員がパソコンの画面で自由に閲覧できるよう整備されている。

⑩⑪教育活動に関する情報公開はホームページやパンフレット等を通して最新の情報を提供している。本評価についても公開している。⑫⑬⑭⑮⑯予算主義を基本とした運営に努めており、財務情報の公開、会計監査など経営上必要となる法令、設置基準に必要な法令は遵守している。⑰個人情報の取り扱いについては教職員への教育・指導を行っており、現時点で問題となる事例は発生していない。⑱ハラスメント防止のための委員会を設けている。

今後の改善方策

「教育の質」を向上させつつ、効率的な経営に努める。法令順守を徹底し、保護者の皆様からの信頼維持に努める。

学校関係者 評価コメント

- ・教育関係のIT化を推進し一層の効率化を期待したい。
- ・職員に対してストレスチェックを実施してみてもどうか ⇒ 毎年法人全職員に対してストレスチェックを実施
- ・生徒、保護者からの信頼を維持するような運営を実践していき、教育の質向上を続けて欲しい。

学校関係者評価

3.9

(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ①商業高校対抗のワープロ競技会、農業高校対抗の情報処理競技会、中学校/高等学校などからの職業体験授業実施等、各種専門分野における受け入れ/施設活用を多数行っている。また、西部地区の幼稚園・保育所の現役保育者を対象とした「乳児保育研修会」講演会や、静岡県保育問題研究協議会が主催する「研究学習会」の会場提供に協力した。
- ②③留学生に対しての在留更新や生活サポートなど分掌担当者を取り決め、各種法令に従った適切な受け入れ手続きを行っている。

今後の改善方策

地域貢献につながる取り組みをさらに強化し、開かれた学校として施設利用の促進を行っていく。
不本意ながら帰国せざるを得ない留学生を最小限に留めるよう、支援体制をさらに強化する。

学校関係者 評価コメント

- ・学生のボランティア活動を取り入れ、清掃奉仕、高齢者奉仕、保育児童支援等を行って社会貢献することもよいのでは。
- ・小学生プログラミング教室など、施設と生徒活用により様々な企画が考えられる。
- ・学生が地域高齢者向けにパソコン講座をやってみてはどうか。
- ・地域との交流を密に実践できていると思う。



学校関係者評価

3.9